

釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会

第7回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

日時： 平成 30 年 8 月 1 日（水） 15：00～16：30

場所： 釧路地方合同庁舎 4階 第3会議室

----- 議 事 次 第 -----

1. 開 会
2. 議 事
 - 1) 第6回ワーキンググループ以降の取組み報告
 - 2) ウェブサイトによる情報発信について
 - 3) これからの取組予定
3. その他
4. 閉 会

----- 配布資料一覧 -----

○第7回湿原学習のための学校支援ワーキンググループ 資料

- ・ 資料1 ワーキンググループの取組み報告
 - ・ 資料2 ウェブサイトによる情報発信について
 - ・ 資料3 これからの取組み予定
- 参考資料1 2017年度 標茶小学校5年生がとりまとめた発表内容
- 参考資料2 学校支援ワーキンググループWEBサイトの構成

出席者名簿（敬称略・順不同）

< 専門家 >

所属等	氏 名
再生普及小委員会委員長（前北海道教育大学釧路校准教授）	高橋 忠一 ○
北海道教育大学釧路校 教授	境 智洋 ○

< 学校教員 >

所属等	出席者
標茶町立標茶小学校	及川 夏美 ○
鶴居村立鶴居小学校	中川 道高 ○
鶴居村立下幌呂小学校	柴田 康吉
釧路町立昆布森中学校	市川 敦士
釧路湖陵高等学校	渡辺 理実 ○

< 学校教育行政機関等 >

機 関 名	出席者
北海道教育庁釧路教育局 教育支援課 義務教育指導班	指導主事 田中 陽一
釧路市教育委員会 学校教育部 教育支援課	指導主事 松本 孝也 ○
	指導主事 畠山 和彦 ○
釧路町教育委員会 教育部 指導主事室	室長 加藤 誠一
標茶町教育委員会 指導室	指導室長 蠣崎 浩一
弟子屈町教育委員会 指導室	指導室長 須藤 光秋
鶴居村教育委員会 管理課 学校教育係	係長 清野 玲子
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	次長 徳田 裕之 ○

< 事務局 >

機 関 名	出席者
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	国立公園課課長補佐 桑原 靖則○
	釧路湿原自然保護官 矢部 敦子○
公益財団法人北海道環境財団	事務局次長 久保田 学○
	環境教育推進課 山本 泰志○
	環境教育推進課 安田 智子○

ワーキンググループの取組み報告

1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

○フィールド情報マップのとりまとめ、WEB サイトへの掲載

- ・ 釧路湿原流域において、フィールド学習が可能な場所を実践例と合わせて紹介する「フィールド情報マップ（2016 年度作成）」に達古武湖周辺フィールド（森林再生事業地および夢ヶ丘遊歩道・展望地）および二本松展望地のフィールド情報、実践事例等を追加した。
- ・ 2017 年度にフィールド情報マップに掲載したフィールドを活用した授業支援、教員研修講座を実施（以下、3 項参照）。

2. 自然再生の学校教育への活用促進

○自然再生事業地を使ったフィールド学習の支援

- ・ 釧路湖陵高等学校 SSH 事業における釧路湿原巡検

実施日時 : 2018 年 6 月 26 日（火）9:00～16:30

実施場所 : 達古武森林再生事業地および湖畔、夢が丘木道・展望台

参加者数 : 理数科 1 年生 44 名

指 導 : さっぽろ自然調査館 渡辺修氏、渡辺展之氏

主な内容 : 昆虫、沢の生き物をテーマとする 2 班に分かれて調査体験
夢が丘木道および展望台における湿原植生、近年の変化等について講話



- ・ 標茶町立標茶小学校のフィールド学習（6 月 1 日実施）において達古武湖森林再生事業地（苗畑）を活用したほか、標茶町教育研究所理科部会連携講座（7 月 2 日実施）において湿原の課題、再生事業についてのレクチャー等を実施（以下、3 項参照）。

3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

○WG 取り組み広報チラシの作成、教員への配布（添付資料参照）

○教員への湿原の行事情報等の配信

○WEB サイトへの支援事例の掲載

○授業支援の実施

- ・ 現地下見時における案内、フィールドでのレクチャー

実施日時 : 2018 年 5 月 11 日 (金) 15 時 30 分～17 時 30 分

対 象 : 標茶町立標茶小学校教員

実施場所 : 達古武湖周辺フィールド (苗畑、夢ヶ丘遊歩道・展望地)

主な内容 : フィールドおよび活動の提案、フィールドの案内

- ・ 標茶町立標茶小学校 5 年生のフィールド学習の支援

実施日時 : 2018 年 6 月 1 日 (金) 9 時 35 分～13 時 30 分

実施場所 : 達古武湖周辺フィールド (苗畑、夢ヶ丘遊歩道・展望地)

主な内容 : フィールドでのレクチャー、安全管理補助

- ・ 釧路町立塘路小中学校全校生徒のフィールド学習の支援

実施日時 : 2018 年 6 月 8 日 (金) 12 時 20 分～14 時 30 分

実施場所 : 温根内ビジターセンター、釧路川右岸堤防

主な内容 : 活動の提案、フィールドでのレクチャー

- ・ 現地下見時における案内、フィールドでのレクチャー

実施日時 : 2018 年 6 月 19 日 (火) 13 時～16 時

対 象 : 釧路湖陵高等学校教員

実施場所 : 達古武湖周辺フィールド (苗畑、森林再生事業地等)

主な内容 : 地域巡検実施時における活動内容の刷り合わせ、フィールドの案内

- ・ 釧路湖陵高等学校 SSH 事業における釧路湿原巡検 事前学習

実施日時 : 2018 年 6 月 22 日 (金) 13 時 20 分～14 時 10 分

実施場所 : 釧路湖陵高等学校

主な内容 : 釧路湿原を知ろう、釧路湿原の自然再生事業を知ろう、巡検に向けて

- ・ 釧路市立中央小学校 5 年生のフィールド学習の支援

実施日時 : 2018 年 7 月 10 日 (火) 9 時 30 分～11 時 30 分

実施場所 : 温根内木道

主な内容 : フィールドでのレクチャー

- ・ 釧路町立別保小学校 3 年生のフィールド学習の支援

実施日時 : 2018 年 7 月 13 日 (金) 9 時 50 分～11 時 40 分

実施場所 : 釧路町森林公園

主な内容 : 活動の提案、フィールドでのレクチャー

○教員研修講座の実施

・釧路教育研究センター共催講座

実施日時 : 2018年6月27日(水) 9時～15時
実施場所 : 温根内ビジターセンター、釧路川右岸堤防および赤沼
参加者数 : 小学校・中学校教員 8名
主な内容 : 湿原と外来種をテーマとしたフィールドワーク、講義等



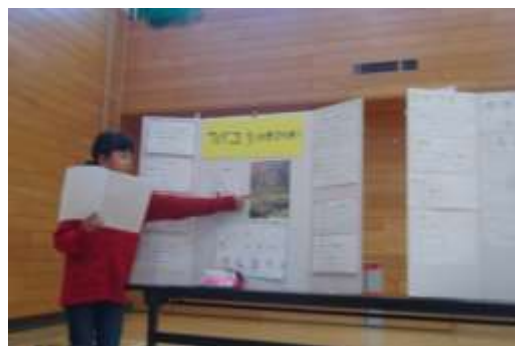
・標茶町教育研究所理科部会連携講座

実施日時 : 2018年7月2日(月) 14時～16時
実施場所 : 塘路湖エコミュージアムセンター、二本松展望地
参加者数 : 小学校・中学校教員 5名
主な内容 : 釧路湿原および自然再生事業の解説、フィールドでのレクチャー

○湿原を題材とする自由研究や学習成果発表の場の活性化の検討

・標茶小学校5年生学習発表会への訪問、児童へのフィードバック

実施日時 : 2018年1月24日(水) 10時40分～12時15分
訪問 : 北海道教育大学釧路校 境教授、環境省寺内自然保護官



・本取組みに対する教員の評価

個人単位で課題追求を進めることで得られた成果

個人単位で進めることで、自身の関心に向き合い、それぞれのストーリーを組み立てることができていた。他者との違いを生徒同士が感じることで、各生徒の今後の学びにつながるものであった。

設定項目に基づいた課題の追求

生徒がとりまとめまでのプロセスを事前に把握して進めることで、生徒自身の力で探

求のステップを踏む姿が見られた。特別支援の生徒等、様々な生徒がいる中で、一定の基準を基に進めることで、生徒が自由な発想から課題追求、とりまとめを進めることができていた。

発表ボード活用のメリット

模造紙と異なり、取り扱いやすいという点が多くの特長を生みだしている。共通した大きさの用紙にとりまとめていくことを生徒が意識しやすく、自身が表現したい情報量に応じて、文字の大きさ、レイアウト等を自ら決めてとりまとめを進めていた。

ボードという特性から、設定項目毎に A4 サイズまたは A3 サイズの用紙にとりまとめた内容を貼付してレイアウトする形で進めることができ、机上で各項目を記載するとともに、記載した用紙（項目同士）を確認して全体の流れをつかみながら効率良く進めることができた。

各自にボードが一枚割り当てられた際、物理的な印象が模造紙とは異なり、生徒各自が自身のボードという認識を持つことができ、保管や作業を行う上での取り扱いについても模造紙に比して効率よく行うことができる。

生徒相互の交流の促進

共通の項目に基づいて発表ボードがまとめられているため、他の生徒の内容、口頭発表について理解が容易になり、踏み込んだ質疑が行われていた。また、自身と他者との違いが認識し易くなり、交流を通して自身の成果をみつめることにつながっていた。

発表ボードを活用することによりポスターセッション形式での発表が容易となり、少人数を対象に発表を行うことで、やりとり型の交流を持たせることができた。

教員自身の学びのきっかけ

評価票に基づく専門家からの ABC 評価については、教員を通して生徒に要約して伝える必要があるが、教員自身が生徒の学習をふりかえるにあたって非常によい資料となった。専門家からの客観的な評価を受けて、教員が学習のあり方について成果と課題を改めてみつめる機会ともなる。また、発表会において境教授から生徒に向けて伝えられたメッセージは教員自身にも響くものであり、教員の気づきや学びを促すものであった。

・ 2018 年度取組み校

取組みの PR：教員研修講座（6 月 27 日、7 月 2 日実施）参加教員への紹介

取組み校：標茶町立標茶小学校（5 年生）、釧路市立中央小学校（5 年生）

ウェブサイトによる情報発信について

○経緯

- ・WEB サイト設置から 10 年が経過し、過去の掲載情報については、更新や整理が必要なものが生じている。
- ・全面的な改修は現実的ではないことから、2018 年度については、トップページの改修、情報の見せ方等を検討する。

○現在の WEB サイトの構成（詳細は参考資料 2 参照）

- ・トップページに以下のメニューバーを設置し各コンテンツへ誘導している。

①釧路湿原を題材とした学習資料

理科や社会科での活用を想定した資料、フィールド情報マップ等掲載（2013 年度～）

②教員研修講座

前身の環境教育 WG より実施してきた全 17 講座の詳細記録を掲載（2009 年度～）

③協力団体・受け入れ機関の情報

学校に協力可能な内容・対応例等 18 団体等の情報を掲載（2008～2010 年度）

④受け入れ施設の情報

学校に協力可能な内容・対応例等 10 施設の情報を掲載（2008～2010 年度）

⑤小学校・中学校における実践事例

14 の実践例を掲載（2008～2010 年度、2011 年度実施状況追記）

⑥資料ダウンロード

湿原学習の実践状況調査報告（2007 年度）、実践例掲載冊子（2008 年度）

⑦湿原学習のための学校支援 WG について

会合資料等掲載（2015 年度～）

⑧WG の取組み（授業支援）

出前講座、フィールド学習、授業コーディネイト等の事例掲載（2016 年度～）

⑨環境教育 WG について

前身の環境教育 WG 会合資料等掲載（2007～2014 年度）

⑩問い合わせ

事務局の連絡先掲載

○トップページの改修案

- ・現在も更新を行っているコンテンツ（上記①、②、⑦、⑧）については、2018 年度に新たに作成したチラシの区分「1 情報や学習資料を提供します」、「2 フィールドと先生をつなげます」、「3 湿原を使った授業づくりをお手伝いします」および「湿原学習のための学校支援ワーキンググループについて」に関連づけて掲載する（次項参照）。
- ・情報が古いコンテンツ（上記③～⑥、⑨）については、「そのほか参考情報」として掲載する。

- # 釧路湿原を使った 学習を支援します！

**環境省は2005年から釧路湿原の自然再生に取り組み、その一環として、
「湿地学習のための学校支援ワーキンググループ」(事務局：環境省)にて、釧路湿原や流域の環境を使った
学習の支援を行っています。**



① 情報や学習資料を提供します。






② フィールドと先生をつなぎます。







③ 湿原を使った授業づくりをお手伝いします。






**釧路湿原国立公園を使った学習に関するご相談に広くお応えしています。
釧路湿原と関連を持たせた学習であれば、
川や森などの身近な環境を使った学習についても支援の対象としています。
また、先生向けの研修会やフィールドワークなども実施していますので、
お気軽にお問い合わせください。**

ワーキンググループ構成員

北海道教育庁生涯教育部、道庁生涯教育委員会、釧路市教育委員会、釧路町教育委員会、弟子屈町教育委員会、釧路村教育委員会、釧路湿原自然再生協議会理事長及び委員各委員、北海道教育大学釧路校、学校教育

湿地学習のための学校支援ワーキンググループ事務局

環境省 釧路自然環境事務所
釧路湿原自然保護官事務所
【電話】0154-56-2345（月～金 8:30～17:15）

ページ③へリンク
(クリックにより移動)

- ・ ページ① 情報や学習資料を提供します イメージ



＊ フィールド情報マップ

湿原周辺の川や丘陵地も含めた「釧路湿原流域」で、フィールド学習ができる場所を実践例と合わせて紹介していきます。今回は釧路湿原の北西を流れる久著呂川の学習フィールドを紹介します。



＊ 学習資料の活用例

「釧路湿原の食物連鎖を表すイラスト」を小学校3年生理科の授業で活用した実践例、「湿原と酪農」の学習資料を小学校3年生社会科で活用した実践例を掲載しています。



＊ 釧路湿原の生き物 写真資料館

釧路湿原に生息する哺乳類、野鳥、昆虫、植物などの写真を閲覧、ダウンロードすることができます。また、野鳥、植物については温根内木道周辺で見られる大よその時期を、昆虫については、食性などの区分で閲覧することができます。



＊ 釧路湿原に生息する生き物の食物連鎖

釧路湿原の食物連鎖を表すイラスト、生き物のトピックを掲載しています。釧路湿原に様々な生き物が住んでいること、それらは食べる食べられるの関係で複雑につながりあっていることを、知ってもらうきっかけになればと考えています。



＊ 大地のつくりと変化(モデル授業)

小学校6年生理科の単元「大地のつくりと変化」において、北海道教育大学附属釧路小学校で行われた湿原と結びつけた学習活動を紹介しています。



＊ 釧路湿原および周辺の地層

・ ページ② フィールドと先生をつなげます イメージ



● 湿原学習の支援事例

●これまで実施した教員研修講座	(実施日)
✳ 釧路町教育研究所理科部会と連携したフィールドワーク	(2017年9月11日)
✳ 体感！釧路湿原～湿原と人の暮らしの境界	(2017年8月30日)
✳ 北海道高等学校理科研究会釧路支部での座学	(2017年6月8日)
✳ 体感！釧路湿原～達古武湖の今と昔	(2016年9月4日)
✳ 体感！釧路湿原～流れる水のはたらき	(2016年7月7日)
✳ 弟子屈町教育研究所理科部会での座学	(2016年7月4日)
✳ 体感！釧路湿原～地域の生活と湿原のはざままで生まれた課題②	(2015年10月26日)
✳ 体感！釧路湿原～地域の生活と湿原のはざままで生まれた課題①	(2015年10月25日)
✳ 体感！釧路湿原～酪農と河川環境保全の両立に向けて	(2015年7月30日)

・ ページ③ 湿原を使った授業づくりをお手伝いします イメージ



● 湿原学習の支援事例

- 標茶小学校での取り組み
- 釧路湖陵高等学校での取り組み

- ・WG とは イメージ

湿原学習のための学校支援ワーキンググループについて

釧路湿原への関心の喚起、理解の促進、保全に向けた意欲の増進を目的として、
 釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会の元に設置され、環境省釧路自然環境事務所を事務局として、
 以下の取組みを行っています。

**先生が釧路湿原を知り、
体感する場づくり**

教育委員会や研究部会等と連携したフィールドワークの
実施・支援

**子どもたちの学習と
釧路湿原をつなぐ様々な支援**

湿原を使った授業づくりに関わる情報提供、レクチャー、
コーディネート等



授業支援に関するお問い合わせ

再生普及行動計画オフィス【電話】0154-56-4646(月～金8:30～17:15)
 E-mail:wanda@heco-spc.or.jp

◆ 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ会合の開催状況

- ✿ 第6回会議 2018年1月10日
- ✿ 第5回会議 2017年8月3日
- ✿ 第4回会議 2017年1月10日
- ✿ 第3回会議 2016年8月1日
- ✿ 第2回会議 2016年1月7日
- ✿ 第1回会議 2015年8月6日

注) ページ修正時には、事務局や構成員、
会合の位置づけ等を掲載する。

ワーキンググループ会合の開催内容について

◆ 第6回会議 2018年1月10日

議事要旨  PDF ファイル

【議事】

- 1) ワーキンググループの取組み報告
- 2) ウェブサイト、紙媒体による情報発信について
- 3) これからの取組み予定

【配布資料】

 PDF ファイル

- » 議事次第、出席者名簿
- » 資料1 ワーキンググループの取組み報告
- » 資料2-1 ウェブサイト、紙媒体による情報発信について
- » 資料2-2 学校支援ワーキンググループWEBサイトの構成
- » 資料2-3 湿原データセンターの現在の構成
- » 資料3 これからの取組み予定

◆ 第5回会議 2017年8月3日

議事要旨  PDF ファイル

【議事】

- 1) 第4回ワーキンググループ以降の取組み報告

これからの取組み予定

1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

○フィールド情報マップの作成

- ・再生事業地や湿原周辺フィールド2箇所程度を対象として、フィールドの概要、学習可能な内容、活用事例をとりまとめ、フィールド情報マップ（kushiro-ee.jp/fieldmap/）に情報を追加する。

2. 自然再生の学校教育への活用促進

○自然再生事業地を使ったフィールド学習の支援

- ・釧路町立昆布森中学校におけるフィールド学習の支援

実施日時 : 2018年10月15日（月）午前中を予定

実施場所 : 達古武地区森林再生事業地

対象 : 全校生徒28名を予定

主な内容 : 再生事業に係る講話、調査体験プログラム等

3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

○WGチラシ取り組み広報チラシの配布

○教員への湿原の行事情報等の配信

○WEBサイトへの支援事例の掲載

○授業支援の実施

- ・釧路町立昆布森中学校フィールド学習 事前学習

実施日時 : 2018年10月初旬を予定

実施場所 : 釧路町立昆布森中学校

○教員研修の実施

- ・釧路町教育研究所理科部会第2回研修会

実施日時 : 2018年9月11日（火）14時～16時

実施場所 : 達古武湖周辺フィールド

参加対象 : 同部会参加教員10名程度を予定

主な内容 : 再生事業に係る講話、沢の生き物をテーマとしたフィールドワーク

○湿原を題材とする自由研究や学習成果発表の場の活性化の検討

- ・標茶町立標茶小学校および釧路市立中央小学校と連携し、教員へのヒアリングを通して児童の学習状況等を把握するとともに、必要に応じて授業の支援を行う。
- ・学習発表会を専門家等と訪問し、評価表に基づいて児童にフィードバックを行う。
- ・ビジターセンター等での児童の発表パネルの企画展示を実施し、これら一連の取り組みの成果と課題をとりまとめる。